

「1億総活躍」に関するニュースから

◎学生・障害者らの意見反映＝「1億活躍」会議、具体化急ぐ-政府

2015年10月8日 20:01 JST 更新 [時事通信社]

第3次安倍改造内閣は8日、重要政策に掲げた「1億総活躍社会」の具体化に向けた検討に入った。加藤勝信1億総活躍担当相の下に設ける「国民会議」には、厚生労働相ら関係閣僚や学識経験者らに加え、主婦や学生、障害者らの意見が反映できる枠組みを整える方針だ。少子化問題や社会保障などの分野で必要となる対策の第1弾を年内に打ち出すほか、行程表「日本1億総活躍プラン」の取りまとめを急ぐ。

加藤担当相は同日の就任記者会見で、「日本の少子高齢化の状況を考えれば、一日も無駄にする時間はない」と指摘。その上で「国民会議での幅広い議論を受けながら、(具体的施策の) 答えを出していきたい」と語った。

国民会議は、安倍晋三首相が挙げた(1)名目GDP(国内総生産)600兆円(2)希望出生率1.8(3)介護離職ゼロの目標達成のための方策などを協議する。女性や高齢者の活用、障害者の社会進出、子どもの貧困といった課題への対応が議題となる見通しで、政府は幅広い層の声を吸い上げ、対策につなげる意向。加藤担当相は国民会議の規模について「ある程度の数になるのではないか」との認識を示した。

◎1億総活躍の名称「突如登場、国民に戸惑いも」 石破氏

2015年10月9日 朝日新聞デジタル

石破茂地方創生相は9日午前の記者会見で、安倍晋三首相の掲げる「1億総活躍」について「最近になって突如として登場した概念だ。国民の方々には『何のことでございましょうか?』という戸惑いみたいなものが、まったくないとは思っていない」と語った。

石破氏はまた、「事項をずらずら並べるだけでなく、これがどうなって1億総活躍になるのか。国民に理解してもらえるように(加藤勝信・1億総活躍担当相と)連携をとっていきたい」とも述べた。

◎民主・蓮舫代表代行、「一億総活躍社会」は全体主義的

2015年10月9日 TBS News

民主党の蓮舫代表代行は安倍総理が掲げる「一億総活躍社会」について、キャッチコピーが全体主義的だと批判した上で、加藤1億総活躍担当大臣が女性活躍担当も兼務している

ことから、「女性をバカにしている」と不快感を示しました。

◎国民会議立ち上げ「来週、首相と相談」 一億総活躍相

2015/10/9 12:22 日本経済新聞

加藤勝信一億総活躍相は9日の閣議後の記者会見で、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて立ち上げる有識者らによる国民会議について「来週の早い段階で安倍晋三首相と相談したい」と述べた。国民会議の人選や議論するテーマについて意見交換する。首相は総活躍相の下で早期に国民会議を立ち上げ、年内のできるだけ早い段階で緊急対策を取りまとめるよう指示している。

◎生活保護、年金…弱者の視点乏しく 1億総活躍

2015年10月9日 東京新聞朝刊

第三次安倍改造内閣を発足させた安倍晋三首相は、少子高齢化を克服するため「一億総活躍社会」を目指すことを表明した。それを実現するための目標として示した「新三本の矢」には、子育て支援と介護支援を盛り込んだものの、狙いは経済政策「アベノミクス」に貢献できる社会保障政策のみをテコ入れするようにみえる。政権の姿勢には生活保護や年金など、弱者を支える視点が乏しい。（鈴木穰、我那覇圭）

「新三本の矢」は二〇二〇年ごろ、国内総生産（GDP）六百兆円と「希望出生率一・八」、介護離職ゼロと目標を示した。子育て支援と家族の介護で離職を余儀なくされる人をなくす対策は重要な課題。だが、この二つに取り組むのは、働く世代を増やし、経済成長を加速させることに狙いがある。

安倍政権は「一億総活躍プラン」を年内に作成する方針。加藤勝信担当相は八日の記者会見で「具体的な議論はこれから」としながらも「子育て支援など働き手の支援をしていくことで力を発揮しやすい状況をつくり、トータルで六百兆円に向けて政策を進めたい」

と表明。あくまでも、働く世代への支援は経済成長のためとの考えを示した。

留任させた塩崎恭久厚生労働相も改造前の六日の記者会見で「厚労省はアベノミクスのど真ん中でも、社会保障を充実させ持続可能なものにするためにも、多くの重要な課題と責任を負っている」と、社会保障の充実の必要性を指摘しつつも、経済成長に貢献する姿勢を強調した。

社会保障は必要な支援を必要な人に届ける制度。しかし、現実には給付減や負担増が続いている。生活保護費は二〇一三年度から縮小した。公的年金は全ての人の受給額を減らす「マクロ経済スライド」が今年四月から始まった。

介護保険は八月から、一定以上の所得のある人は利用者負担が一割から二割へ引き上げられた。医療保険は昨年度から、七十～七十四歳の窓口負担を段階的に一割から二割へ引き上げている。